

05年度(平17) 育友会定期総会 ―学生支援を一層強化

05年度(平17)育友会定期総会が6月4日に神田キャンパスで開催された。本部、支部役員をはじめ大学教職員など210人が出席。活発な質疑討論ののち全会一致で議案を承認。新役員を選出、新会長に受川純一郎氏が選任された。総会のあと日高義博学長が記念講演。本学の目指す「未来像」を熱情こめて語った。



あいさつする大瀬利行会長

昨年は「支部懇」に2159人

総会は遠藤恵子副会長が司会、はじめに大瀬利行育友会長が「ご父母の関心が高まっていることを実感した1年でした。会報『育友』には19件の寄稿があり、最大行事である支部懇談会には68支部から2159人が参加されました。育友会では一層の学生支援を強め、中越地震では被災した学生への奨学金支給、育友会奨励賞の表彰、体育強化連絡協議会に参加して、体育会支援を検討するなどしてきました」とあいさつ。

続いて日高学長、学校法人を代表して出牛正芳理事長が、日ごろの大学への支援に感謝の意を表した。甘竹秀雄新校友会長は「育友会と校友会は車の両輪。大学発展のために共に尽力していきましょう」と連帯を呼びかけた。

受川純一郎氏を新会長に選出

大瀬会長が議長となり議案審議に入り、04年度事業報告・同収支決算・監査報告を承認。05年度事業計画(案)、収支予算(案)が計られ、いずれも全会一致で承認された。続いて本部新役員の選出、紹介があり、満場の拍手で受川純一郎氏が会長に選任された。

受川新会長は「育友会発展のために皆さんと共に力を尽くします」と抱負を述べた。また、受川会長から出牛理事長に「育友文庫図書目録」が贈呈されたあと、退任役員を代表して大瀬前会長があいさつし、稲垣清津男副会長が閉会の辞を述べた。

新会長の横顔―受川純一郎さん

「会員相互の交流の場」をPR

「『育友会』は大学と家庭とのパイプ役であると同時に、会員相互の交流の場でもあるということ強くPRし、特に夏の支部懇談会には、一人でも多く参加していただきたいですね。参加者が多ければ、さまざまなアイデアが出て来ます。私たち役員はまとめ役に徹し、会員の皆さんの満足度の高い、魅力ある会を作っていくことが、大学の発展へとつながると確信しています」と力強く宣言。旅行会社勤務のノウハウを生かし、「参加してもらう育友会」作りの旗振り役を担う。副会長として昨年出席した青森の支部懇談会では待っているご父母のために急きょ、懇談の場を設定した。臨機応変な対応は「仕事のクセですね」と笑う。



「ご父母が大学へ来る機会はほとんどありません。そこで今年度は、東京A・B・C合同会場として神田キャンパスを、神奈川(川崎・藤沢)は生田キャンパスを会場に設定しました。ご子女が学ぶキャンパスを実際に見ることで、話題が広がっていただけることを願っています」

入社4年目で新店舗の責任者に抜擢されたという抜群のリーダーシップに育友会トップとしての期待がかかる。

野球が盛んな愛媛県出身で、野球・バスケット・柔道とスポーツ万能。「観るのも大好きです。今年の1月3日は有志で箱根駅伝、全日本バスケットとハシゴしました。私が応援した(本学の)野球の試合は負けなしなんです。秋はぜひ1部に復帰してほしいですね」。

小学生の頃から地理が大好きで、大学も地理学科を卒業。学生時代は、日本全国を旅したという。「好きなことを仕事にさせてもらっています」。

高校球児だった二男は商学部4年次で就職試験最終面接のさなか。最近では採用にも携わる経験から、「相手をきちんと見て、大きな声で答えること」とアドバイスしたそうだ。

育友会全国支部長会

活発な情報交換の場に

育友会全国支部長会が6月5日、東京・九段のホテルグランドパレスで開かれた。68支部から92人の役員と本部役員など107人が出席。支部懇談会、就職懇談会の進め方について意見交換が行われた。

眞淵典男副会長の司会で、はじめに受川新会長、庄菊博育友会主任(法学部教授)らからあいさつがあり、支部懇談会や支部活動における日ごろのご苦労に対して、謝意が述べられた。

会議では、支部懇談会開催について事務局からの報告を受け、各支部からは「会員に出席を促す方法」「(支部)懇談会の進め方」「役員選出方法」などさまざまなアイデアが公開され、支部懇談会の成功に向けて活発な情報交換の場となった。

専修大学の歴史と教育理念

日高学長が記念講演

日高学長は記念講演で「1880年(明13)、日本で初めて日本語の講義による法律、経済の専門学校を創立して今年で126年を迎えるが、建学の精神を受け継ぎ21世紀の大学像構築に向けて新たな歩みを進めている」と述べ、今日、価値観が崩れ倫理観が迷走する中で、「社会を動かす人間性豊かな倫理観のある人材を育てることが重要」と語った。

そのために「社会知性の開発」と「学生を基本に据えた大学づくり」を目指していると強調。「大学で自分の可能性を見つけ、新しい能力を発見してほしい。4年間で、学生が大きく『変身する』教育を進める」と話した。

最後に「今日まで建学の精神、教育理念を社会での活躍の中で伝え、大学の発展を支援してきたのは卒業生である。ご父母の皆さんもオール専修の一員として、建学の精神を21世紀に伝えるメンバーとして、温かい応援団として、見守っていただきたい」と訴えた。



育友会就職懇談会 静岡会場で実施

6月12日、静岡グランドホテル中島屋で育友会主催の就職懇談会が開かれ、会員ら約50人が出席した。水淵一雄静岡支部長、受川育友会長のあいさつに続き、スター精密(株)人事室人材開発グループリーダーの横山一氏と船橋慶洋就職課長が講演を行った。休憩後、三つのブースに分かれて個別相談が行われた。

【今後の就職懇談会日程】

山梨6/26(日)「ザ・ホテル紫玉苑」、東京7/3(日)「ホテルグランドパレス」、岡山7/10(日)「ラヴィール岡山」